

5. BTC研修修了者からのメッセージ

このコーナーは、BTCが行っている育成調教技術者養成事業の研修を終え、社会へ巣立っていった修了生が生産・育成界の現実を知りつつ、「強い馬づくり」への夢と期待を述べることを目的に開設しています。次世代を担う若者へ皆様から飛躍のためのエールをお願いいたします。

「目標に向かって邁進」

第11期生 大上 純 (田口トレーニングファーム勤務)
第12期生 竹中 昭弘 (" ")

僕達がBTCの研修を修了して、もう5年以上経ちました。

研修を受け始めた当初は知識も経験ありませんでしたが、教官や獣医師の方々から基本から色々な事を教えて頂き、それは今、僕達が仕事をしていく中での根底となっています。

当時の研修は6カ月間で乗馬が中心でしたが、基本乗馬から学んだ経験は、騎乗馴致、1歳馬のハミ受けや走り方を教える時、癖のある馬を矯正する時、背中の緊張がほぐれない馬をリラックスさせる時と、色々な局面で役に立っており、競走馬に騎乗する時も基本が出来ていなければダメだという事が身にしみて分かりました。また、馬に乗る事以外の厩舎作業、飼養管理、馬学等の知識を学んだ事は、馬に乗る事と同等か、それ以上の価値を持っていると思います。確かに、研修中や働き始めて仕事を覚えていく段階では、その重要性に気付かなかったり疎かになりがちでしたが、牧場では馬に乗るだけが仕事ではないので、これらの能力が求められています。そして、その知識に満足する事なく実際に出来る範囲で試し、経験として身に付け、さらに応用していく事も大切だと思います。

競走馬の牧場は数多くありそれぞれのやり方も目的も違いますので柔軟な考え方で対応していく事も必要です。ただ、競馬の世界にいる以上はどここの牧場でも目指していることは一つだと思っています。

僕達もまだまだ技術には課題がありますので常に向上心を持ち、これからも初心を忘れずに信念を貫くと共に、新たな目標に向かって邁進していきたいと考えています。

また、牧場に入ったばかりの方やBTCの研修生には、一日一日、一鞍一鞍を大切にしてこの世界で羽ばたくことを願っています。

(平成15年12月記)

かけがえのない財産

第17期生 新井 義典(ノーティホースジム勤務)

1年間の研修を終え、牧場に就職してから3年が経ち、私が浦河にやってきたこの4年間は短くとも様々な事を経験する事が出来ました。

研修時代には、騎乗技術・馬学・厩舎作業など、馬社会で生きていく上で重要なことを学ぶ事ができました。しかし、自分はずっと大切なものを得たような気がします。それは、仲間を思いやること。自分に任された仕事に対する責任。仲間とともに勉強し、向上心を持って互いを磨き合っていく事など人間として大きく成長する事です。

そうして現場へ出て行く喜びと、研修を無事修了したという自信を胸に牧場へと入りましたが、牧場では自分が思っていた以上のものを求められました。例えば、馬の状態を見る管理能力であったり、人への指示などです。自分は「まだ新人なのだから、あまり出過ぎても…」と思っていたのですが、そんな甘い事も言っていられず、早く仕事を覚えて一人前にならないといけないという重圧に負けそうにもなりました。だけどそういう時に助けてくれたのは、研修時代の仲間や教官であり、牧場の同僚や先輩達でした。この4年の間に得たものは、とても大きく、かけがえのない財産です。

そもそも私が今の牧場を選んだのは、BTCのすばらしい施設を利用していることが大きかったこともあります。広く整備され様々な種類の馬場があるのは魅力的ですが、なによりも数多く牧場が利用しており、見ているだけでも勉強になると思ったからです。また、調教場で毎日顔を合わす他の牧場の人たちと会話を交わすことで交友が広がるとともに、様々な情報を聞く事が出来てそれが自分の財産になっています。そのためには、自分から積極的に話しかけることを心がけ、人間関係を築いていく事が大切だと思います。

これから牧場に就職する方々へ言える事は、今までに得た仲間やこれから出会うであろう人達とのコミュニケーションを大切にし、如何に自分の存在価値を高めていく事が出来るか、ではないかと思います。

近く出会える事を楽しみにしています。

(平成15年12月記)